



政 策 第 20 号

平成 27 年 7 月 31 日

三重県知事 鈴木 英敬 様

四 日 市 市 長 田中 俊行



四日市商工会議所会頭 小林 長久



サミット開催に伴う「四日市公害と環境未来館」等の活用について(要望)

盛夏の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、先般、サミットの開催地が三重県に決定されたことについて、知事をはじめ関係者の皆様のご努力に深く敬意を表する次第です。

本市としては、ぜひこの機会に、伊勢志摩サミットを通じて、四日市市の強みや魅力を海外へ強く発信していきたいと考えております。

ご承知のように、本市では、四日市公害の発生以来、市民・企業・行政が一体となって環境改善に取り組み、産業の発展と環境保全を両立するまちづくりに鋭意取り組んでまいりました。

さらには、本年3月、四日市公害の歴史や教訓を次世代に継承するとともに、蓄積してきた環境技術や環境管理のノウハウ、環境に配慮したまちづくりのプロセスなどを広く国内外に情報発信する拠点として、「四日市公害と環境未来館」をオープンしたところです。

つきましては、下記の要望に対し、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- (1) 各国首脳をはじめ配偶者やマスコミなど、関係者のプログラムの中で、「四日市公害と環境未来館」をご活用いただくこと。
- (2) 「産業」や「環境」等をテーマとした会議(ジュニアサミットなど)の開催並びに学習において、本市内の施設や「四日市公害と環境未来館」をご活用いただくこと。